

復旧・復興 福島県土木部 インフォメーション

Vol.6
2013.5.15
Fukushima



震災ガレキを活用した海岸堤防工事で研修会を実施

Hot News

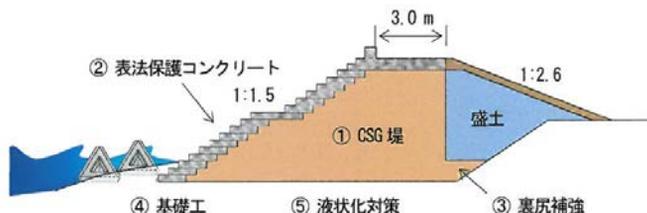
■平成25年4月24日（水）、いわき建設事務所において、夏井地区海岸堤防工事の現場研修会を開催し、各建設事務所職員ら約50名が参加しました。本箇所では、コンクリート殻を破碎しセメント・水と混合して築堤材料として使用する「CSG工法」を採用しております。ダム建設などで採用されている工法で、海岸堤防工事に導入したのは全国で初めてとなります。本工法のメリットとして、東日本大震災で発生した震災ガレキの有効活用を図り、材料調達のコスト削減が行えることや、通常の土砂による築堤よりも壊れにくい「粘り強い構造」になる点が挙げられます。

今後、早期の完成を目指し工事を進めていきます。

問合せ先

いわき建設事務所 河川砂防課 TEL：0246-24-6127

海岸名	夏井地区海岸
事業名	高潮対策事業
延長	L=920m
体積	V=60,000m ³ (CSG堤V=40,000m ³)
施設	海岸堤防(新設)
護岸天端高	T.P+7.2m



事業概要

海岸堤防の断面



復旧・復興に向けた
取り組みを紹介します

福島県 公共土木施設復旧・復興情報
～ふるさとの再生と帰還にむけて～ 福島県土木部

Web版はコチラ→ http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=31629

相馬港湾建設事務所news

■震災で被災した上屋（1号、2号、3号）の復旧が完了し、今年度から供用を開始しました。この施設は、船舶から降ろされた貨物や船積みされる貨物を一時的に保管するもので、復旧により、より活発な物流が期待されます。



復旧箇所



上屋復旧の状況

県中建設事務所news

■国道288号三春西バイパスの開通日が、平成25年5月23日（木）に決定しました。当バイパスは中通りと浜通りを結ぶ地域間を連携する道路であるとともに、「福島県復興計画（第1次・第2次）」に位置付けられている重要な幹線道路です。平成9年度に事業に着手し、このたび全線開通する運びとなりました。



宮下土木事務所news

■宮下土木事務所では、平成23年新潟・福島豪雨により被災した道路・河川等の復旧状況をまとめた「新潟・福島豪雨復旧復興だより【第3号】」を発行しました。

詳しくは、下記ページをご覧ください。

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=33256



被災時



施工状況

国道252号 二本木橋復旧状況

下水道課news

■震災で被災した下水道施設の災害復旧工事実施状況について、平成25年5月1日時点での状況を更新しました。

詳しくは、下記ページをご覧ください。

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=31962

土木企画課news

■土木部では、東日本大震災及び平成23年新潟・福島豪雨等の復旧・復興事業の集中によるマンパワー不足に対応するため、平成23年度から全国各地より自治体応援職員の支援をいただいております。平成25年度においても、土木部で70名の応援を受け、1日も早い復旧・復興に向け当県職員・応援職員一丸となり業務を行っております。



南会津建設事務所に応援に来て頂いた派遣職員（栃木県より派遣 左：栗山主査、右：小野主査）

Report

■【県土木部全体】平成23年度被災・災害復旧事業の進捗状況（平成25年5月2日現在）

- ・東日本大震災 着手**74%** 完了**52%**
- ・新潟・福島豪雨 着手**95%** 完了**62%**
- ・台風15号 着手**96%** 完了**84%**

※率の算定は事業実施箇所数に対し、事業着手した箇所数の割合を着手率、事業完了した箇所数の割合を完了率、として算出しています。
※避難指示区域等の査定が未実施の箇所は含まれていません。今後の査定実施により対象が増加する場合があります。

